

事業番号	10 02 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

1 現状と課題

- 多くの森林が利用可能な齢級となっているものの、生産コストが割高になっていることなどにより、木材の利用が一部にとどまっており、低成本生産による安定的な木材供給が望まれる。
- 低成本生産、安定的な供給を支える高性能林業機械の導入数及び林内路網の整備量が少ない。

2 事業目的

県産材の効率的、安定的な供給、充実した森林資源の有効活用を図るため、高性能林業機械の導入や基盤となる林内路網を一
体的に整備し、地域を支え、持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

①高性能林業機械の導入の促進

- 木材の素材生産の効率化と作業の安全性を高めるため、林業事業体等による高性能林業機械の導入を支援
(補正前：10台 → 今回補正後：16台)

※その他の事業は当初予算のとおり

②林道整備

- 国の補正予算を活用して、当初予定していた箇所のうち5箇所について、令和8年度事業を前倒して実施する。

※その他の事業は当初予算のとおり

4 成果指標

(推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	高性能林業機械保有台数	台	538	699	↗	770	↗	782	／＼	林業産出額を達成するために、林業事業体が必要とする高性能林業機械の台数を目標値に設定 ※R7年度事業点検シートに記載したR6年度実績を確定値に更新しました（修正前：711、修正後：770）
②	林内路網密度	m/ha	22.0	22.2	↗	22.4	↗	22.6	／＼	資材価格の高騰、予算の状況などを考慮し、目標値を設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況					目標		
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	
2-1①	成長産業の創出・振興	☆林業産出額(うち木材生産)	百万円	2021 (R3)	7,413	2022 (R4)	8,790	2023 (R5)	7,484	2027 (R9)	7,170

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額					
R7年度	362,423	1,083,450	182,869	182,869		1,628,742	81,084		23.1
R6年度	349,822	1,052,701	△ 156,203			1,246,320	69,086	825,487	23.1
R5年度	559,745	880,932	△ 42,029			1,398,648	71,167	1,043,867	23.1

事業番号	10 02 04	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	■補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
1	林業基盤整備事業	154,130 千円	164,820 千円	予算現額 <u>219,222</u> うち今回補正額 <u>115,665</u> 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	高性能林業機械導入推進事業	補助金	・林業事業体が行う高性能林業機械の導入（リース含む）に対する補助 ・高性能林業機械のオペレーター養成研修に対する補助 高性能林業機械補助台数： <u>16台</u>	

細事業No.	細事業名	R5年度予算現額	R6年度予算現額	R7年度予算
2	林道整備事業	1,244,518 千円	1,081,500 千円	予算現額 <u>1,409,520</u> うち今回補正額 <u>67,204</u> 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特定林道維持管理事業費	補助金	特定林道に対する財政支援を行い適切な維持管理と通行の安全を図る 1路線、約17kmの維持管理	
2	森林路網DX推進事業	直接 委託	・森林路網（林道）のデジタル情報収集調査 ・森林路網のデジタル情報管理体制の構築 ・森林路網のデジタル情報活用人材の育成 調査対象路線：252路線	
3	森林整備に直結する作業道整備事業	補助金	森林整備や間伐材の搬出を行うための作業道等開設・復旧に対する補助 補助対象路線：5路線	
4	公共林道事業	直接 補助金	・県営事業による林道の開設 ・市町村が行う林道の開設、改良、舗装等事業に対する補助 ・国の補正予算を活用して、5箇所について令和8年度事業を前倒して実施 開設 <u>12箇所</u> 、改良 <u>40箇所</u> 、舗装 <u>7箇所</u> 、他 <u>33箇所</u> 計 <u>92箇所</u>	
5	県単林道改良事業	補助金	地域の重要な路線であり、一般者の入り込みの多い特定林道の機能回復を図るために工事に対する補助 特定林道（南アルプス線、奈川安曇線）2路線	